

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年8月29日～2016年9月4日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年9月7日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼ナゴルノ・カラバフ独立宣言記念日の式典への「アブハジア共和国」代表団の出席(9月2日)

・2日、アブハジアのメディアは、ナゴルノ・カラバフで行なわれたナゴルノ・カラバフ「独立宣言」記念日を祝う式典にガブニア「アブハジア共和国副大統領」を団長とする「アブハジア共和国」代表団が出席したと報道。その直前、タニア「アブハジア共和国外務次官」はフェイスブックにサルグシャン・アルメニア大統領と「アブハジア共和国」代表団が一緒に写った写真を投稿していた。ジョージアのメディアでは「アブハジア共和国」代表団がアルメニア大統領と会談した可能性が報じられた。

・3日、ギギアゼ外務次官は、アルメニア政府に照会した結果、アブハジア代表団はサルグシャン・アルメニア大統領と会談していないと述べた。

・報道によれば、サハキアン「ナゴルノ・カラバフ共和国大統領」は、ナゴルノ・カラバフにてアブハジア、南オセチアおよび沿ドニエストルの代表団と会談した。

【南オセチア】

▼第69回IPRM会合(31日)

・エルグネティで第69回IPRM会合が行なわれた。行政境界線付近の状況は問題はあるものの概ね安定的と評価された。行政境界線上での武装人員の遭遇時のリスク回避の方法、被拘束者の扱い、耕作地の収穫などについて議論が行なわれた。

・次回のIPRM会合は9月28日。

2. 外 政

▼米下院代表団のジョージア訪問(27日～30日)

・米下院のハンター議員(共和党)とサンフォード議員(共和党)がジョージアを訪問。ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相と会談。クルツァニシ訓練センター、南オセチア行政境界線付近の状況などを視察した。

▼アゼルバイジャン外相のジョージア訪問(29日)

・メメディアヤロフ・アゼルバイジャン外相がジョージアを訪問。ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。会談では、両国の政治、文化、貿易・経済関係、物流・エネルギー分野における協力、地域的な安全保障について議論。南ガス回廊およびバクー＝トビリシ＝カルス鉄道の重要性が強調された。

両国間の国境画定プロセスを迅速に完了する必要性が指摘された。

▼国会議長のポーランド訪問(30日～31日)

・ウスパシヴィリ国会議長が中欧諸国議員会議に出席するためポーランドを訪問。

・「ウ」国会議長はクフチンスキ・ポーランド下院議長と会談。「ウ」国会議長はジョージアおよび地域におけるロシアの役割、ロシアのプロパガンダおよび地域の課題について説明し、ジョージアは欧州の課題を認識・共有しており、議論および危機解決に関与すると述べた。

▼首相のアゼルバイジャン訪問(31日)

・クヴィリカシヴィリ首相がカラゼ・エネルギー相らとともにアゼルバイジャンを訪問。アゼルバイジャンのアリエフ大統領およびラシザデ首相と会談。会談では、戦略的パートナー関係、共同プロジェクト、地域情勢などについて議論。南ガス回廊およびバクー＝トビリシ＝カルス鉄道などの共同プロジェクトに焦点が当てられた。

「ア」アゼルバイジャン大統領は、「地域における両国の発展と安定はエネルギー・物流プロジェクトの実現にかかっている」と述べた。

▼ベラルーシ副首相のジョージア訪問(31日)

・ルスィ・ベラルーシ副首相がジョージアを訪問。9月1日、経済協力に関する政府間委員会の第3回会合およびトビリシで初のベラルーシ産品展示会が開催された。

・「ル」ベラルーシ副首相はクヴィリカシヴィリ首相およびクムシヴィリ経済・持続的発展相と会談し、貿易・経済協力の強化の重要性に焦点を当てつつ、経済、情報技術、物流、観光、農業分野における両国関係について議論。在ジョージア・ベラルーシ大使館の開設が二国間関係の更なる発展を促進するよう希望が述べられた。

▼内相のドイツ訪問(31日～9月4日)

・ムゲブリシヴィリ内相がドイツを訪問。ザクセン州、ヘッセン州、バーデン・ヴュルテンベルグ州の内相と会談し、両国警察の協力について議論。

▼外相のドイツ訪問(9月1日)

・ジャネリゼ外相が独ポツダムで行なわれたOSCE外相非公式会合に出席。クルツ・オーストリア外相と会談。「ク」オーストリア外相は、2017年1月にOSCE議長としてジョージアを訪問する意向を明らかにした。OSCEの枠内での協力について議論し、紛争の平和的な解決プロセスへのOSCEの関与の重要性を強調。

▼多国籍軍事演習Agile Spirit 2016(9月1日)

・アハルツィヘ近郊にて2週間の多国籍軍事演習Agile Spirit 2016が開始された。ジョージア、米国、ブルガリア、

ラトビア、ルーマニア、ウクライナの部隊が参加する。

▼EU・東方パートナーシップ非公式外相会合(9月3日)

・ブラチスラバで行なわれたEU・東方パートナーシップ非公式外相会合にジャンネリゼ外相が出席。EU側からはモゲリーニ外務・安全保障政策上級代表、ハーン近隣政策・拡大交渉担当欧州委員が出席。東方パートナーシップの展望、東方パートナーシップ諸国の対EU関係、EU・東方パートナーシップ諸国間の協力の強化の方法などについて議論された。

・「ジャ」外相はフランス、オランダ、リトアニア、スロバキア、アルメニアの外相と個別に会談を行なった。

▼首相がカリモフ・ウズベキスタン大統領の葬儀に参列(9月3日)

・クヴィリカシヴィリ首相は、トルクメニスタン大統領、タジキスタン大統領、アフガニスタン大統領、ベラルーシ首相、ロシア首相、カザフスタン首相、キルギス首相、中国副首相らとともに、サマルカンドで行なわれたカリモフ・ウズベキスタン大統領の葬儀に参列した。

▼オーストリア国会副議長のジョージア訪問(9月4日)

・コプフ・オーストリア国会副議長がジョージアを訪問。ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジャンネリゼ外相らと会談。「ウ」国会議長との会談では、両国の選挙期間の状況、地域情勢、国会間交流などについて議論。

3. 内 政

▼OSCE選挙監視団の活動開始(30日)

・欧州安全保障協力機構／民主制度・人権事務所(OSCE/ODIHR)が10月の国会選挙に向けた選挙監視活動を開始した。選挙監視団は候補者の登録手続き、選挙運動、中央選挙委員会およびその他の国家機関の活動、メディアによる選挙運動の取り上げかたなどを監視し、選挙が国際的基準および国内の規則に沿っているかを評価する。今後、選挙期間中の状況について中間報告をまとめる予定。

・OSCE/ODIHRはOSCE加盟国に対し、投票日の動きと集計作業を監視する350名の短期監視員の派遣を要請した。

▼国会選挙に関するイヴァニシヴィリ元首相の発言(9月1日)

・アジャラ自治共和国で行なわれた記者会見で、イヴァニシヴィリ元首相は、自身が創設したジョージアの夢・民主ジョージア党(GDDG)が10月8日の国会選挙で100議席程度を獲得するだろうとの見通しを示した。「イ」元

首相は、GDDGの主な競争相手は統一国民運動(UNM)と「国民のための国家」党が率いる4党の政党連合であるが、後者はUNMの「一派」であり、UNMに支配されていると述べた。

▼世論調査の結果(9月3日)

・8月18日～27日に、TV局「イメディ」の依頼によりJPM Strategic Solutions社がジョージア全国で有権者1200名を対象に世論調査を実施した結果が発表された。

・政府が取り組まねばならない最も重要な問題(3つまで回答)は、雇用82%、貧困38%、物価の上昇・インフレ37%、領土一体性31%、年金・健康保険21%、教育16%、司法・犯罪7%、汚職6%。

・もしも明日国会選挙が行なわれた場合の投票先は、ジョージアの夢・民主ジョージア党32%、統一国民運動16%、自由民主主義者党4%、労働党4%、国民のための国家3%、愛国者連合2%、統一ジョージア・民主運動2%、分からない・回答拒否34%。

4. 経 済

▼2016年7月の経済成長(30日)

・2016年7月の実質GDP成長率は前年同月比2.1%。2016年1月～7月の実質GDP成長率の平均は前年同期比2.7%。

▼CEFC China Energy理事のジョージア訪問(30日)

・蔵建軍・中国華信能源(CEFC China Energy)執行理事がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、クムシヴィリ経済・持続的発展相らと会談。ビジネス・投資におけるCEFC China Energyと経済・持続的発展省の協力に関する覚書への署名が行なわれた。

▼2016年1月～8月の入国者数(2日)

・内務省が発表。2016年1月～8月の入国者数は4,247,729人、前年同期比8.2%増。

・2016年8月の入国者数は450,003人、前年同月比17.3%増。出身国別では多い順にアルメニア(前年同月比2%増)、アゼルバイジャン(同3%減)、トルコ(同42%減)、ロシア(同12%増)、ウクライナ(同18%増)、イラン(同599%増)。ラトビア、イタリア、リトアニア、英国などEU諸国、カザフスタン、アラブ首長国連邦、米国、イスラエルなどからの入国者数が増加。

▼2016年8月のインフレ率(2日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は0.4%。食料品・非アルコール飲料の価格が1.4%上昇。医療費が0.7%低下。

・年間インフレ率は0.9%。アルコール飲料・タバコの価格が11.9%上昇、医療費が3.3%上昇、輸送費が7.7%低下。